

当日配布資料：事前意見等一覧

該当箇所		委員からのご質問・ご意見	事務局回答
個別目標 1	ご意見	主な取り組み① 第2層協議体の設置数 ・協議体の設置が進んでいる点は高く評価できる。 ・設置したことによるメリットや、未設置であることによるデメリット等を市としてどのように捉えているのかが見えにくい。	
	ご質問	主な取り組み① 第2層協議体の設置数 ・第2層協議体について、設置されたことにより地域の支援体制がどのように強化されたのか。地域によりばらつきがあるのではと考える。	・支援体制の強化について 第2層協議体が設置されたことにより、地域で各々に活動していた団体に横串がさせ、情報の共有化がより一層図られ、地域の社会資源や共通の課題等が明確になるとともに協議の場が整いました。また、生活支援コーディネーターが、地域の高齢者の日常生活の相談事に対応し、地域の支援活動や支援団体等の情報提供を行ったり、繋いだりすることで、円滑な問題解決や支援団体が対応する際の負担軽減につなげています。 これらの相談事等は協議体で集約し、地域の課題も踏まえながら、協議をすることにより地域の支援活動の強化や新しい活動の創出などきめ細かな支え合いの仕組みづくりを行うことができるようになっていきます。

当日配布資料：事前意見等一覧

		・生活支援体制整備事業について、令和6年度の改正で、生活支援コーディネーターは高齢者支援にとどまらずその地域の多様な人への支援も広がっているようだが、既存の協議体ではその点の話し合いや理解が進むようにすべきではないか。	・地域によるばらつきについて 本市における第2層協議体は、地域住民が主体となって設置し、その地域の実情に応じた取り組みを実施していることから、各地区において、それぞれ課題設定や解決のために実施する事業は異なっております。一方、協議体の周知が十分でないと考えられる地区、設置年数が浅い地区につきましては、市や支援団体による重点的なサポートを実施し、支援体制充実に努めております。 令和6年8月5日改正の地域支援事業実施要綱においては、生活支援体制整備事業の目的として「地域住民を含めた多様な主体による高齢者の自立した生活や介護予防に資する総合事業に該当しない多様な活動または事業」を「事業間で連携を図りながら実施することが重要」とされています。 すなわち、事業の対象はあくまで「高齢者」であり、その自立した生活等に資する事業は、高齢者だけでなく関係する様々な方々の利益となるものを実施することが可能であると理解しています。このことを踏まえ、各協議体で事業の方向性等について協議を行いました。多様な事業を実施することは高齢者のみならず地域の利益に寄与する一方で、取り組むべき課題が増えるという意見もありました。 現時点においては、高齢者を対象にした立ち寄り処・談話の場である「サロン」や「カフェ」の参加者の年齢制限を設けずに開催することや子育て世代のサポート（例えば通学支援など）を高齢者のボランティアで行うなど、高齢者の経験を活かした社会参加と、若い世代の生活支援を両立させることができるような取り組みの実施について検討をしている状況です。
--	--	--	--

当日配布資料：事前意見等一覧

		・平成 27 年度に生活支援体制整備事業が法制化され 11 年が経過したが、令和 11 年度までに全地区での整備ができる見通しはあるのか。	令和 8 年 7 月時点で協議体未整備地区 4 地区となっており、鶴間地区、深見大和地区、渋谷西地区、和田地区となっております。令和 11 年度までに全地区に設置ができるよう、情報交換会や話し合いの機会を設けるなどし、協議体設置の機運に高める取り組みを継続して実施しているところです。 協議体は地域住民が主体となって設置するものと捉えており、地域の方々のご理解・ご協力が必須であることから、丁寧かつ慎重に取り組みを推進していく必要があると考えております。
	ご意見	主な取り組み② 包括的な相談への支援者支援件数について ・対応件数が多いことは高く評価できる。 ・目標値を大幅に超える相談件数は素晴らしい。また、庁内連携による支援体制構築が行われていることも素晴らしいと思う。 ・令和 11 年度最終目標値を大幅に上回る支援件数は評価できる一方で、当初の想定を超える業務量が集中することで職員の負担増加というリスクが考えられる。	

当日配布資料：事前意見等一覧

		・シートからは、令和 11 年度最終目標値 80 件に向けて、支援者支援件数の減少を目指すように読み取れる。 ・具体的な支援の内容と、支援したことによる成果について、詳細を進行管理シートに記載してほしい。	シートの記載については検討します。具体的な支援の内容と成果については、次のとおりです。 ・具体的な支援の内容 複合的な課題（介護、精神、経済困窮、社会的孤立など）がある世帯において、制度につながりにくい方へアウトリーチ支援を行い、制度接続を支援するほか、世帯の中に支援に漏れている人がいないかを確認し、各課の対象者以外の世帯員へ支援介入することで、支援関係を広げている。 ・具体的な成果 自ら制度とつながることができない、またはしない方を制度につなげることで、制度の狭間を埋める成果を出している。また、支援者を支援することにより、所管課間のコミュニケーションを円滑、かつ、促進し、併せて各支援者の不安の軽減する成果を出している。
--	--	---	--

当日配布資料：事前意見等一覧

ご質問	主な取り組み② 包括的な相談への支援者支援件数について ・令和 11 年度最終目標値が令和 7 年度実績値よりも少なくなっているのはなぜか。	令和 11 年度目標値は、計画策定時に、令和 6 年 8 月時点における月平均支援者支援件数 6.6 件×12 ヶ月を積算根拠として提示しています。令和 7 年度における実績値が計画策定時の見立てを大幅に上回ったことから、令和 11 年度最終目標値との差が生じています。 包括支援係に寄せられる相談のうち、約 50%が庁内支援者からの相談、約 20%が庁外支援者からの相談となっており、これは当初の見込みを大きく上回る成果となっており、包括支援係の対応が一定の評価・信頼を得られたものと捉えています。
ご意見	主な取り組み③ 協議・検討を行った回数（包括的支援事業） ・目標値を大幅に超える相談件数は素晴らしい。また、庁内連携による支援体制構築が行われることも素晴らしいと思う。	

当日配布資料：事前意見等一覧

	ご質問	主な取り組み③ 協議・検討を行った回数（包括的支援事業） ・主な取り組み②との内容の違いは何か。 ・増え続ける複合的な課題を抱えた市民に対して、現在の相談体制で大丈夫なのか（人的配置など）。	同じ包括的支援体制推進事業に係る内容ですが、主な取り組み②は、包括支援係に寄せられた相談のうち、支援者支援の件数です。主な取り組み③は、②のような支援者支援の過程で、各支援者とテーブルという協議の場を実施した件数です。1件の相談に対し、複数回実施する場合があります。 相談1件当たり、およそ3.5の課題があり、包括支援係では、複合化、複雑化した相談に横断的に対応するために、各課との対話の機会を意識的に持つようにしており、このテーブルにて課題整理、方針検討、役割分担を行っています。 現在ケースワーカー2名、スーパーバイザー1名の体制で、寄せられた相談を受け止めております。 本市の包括的支援体制では、複合的な生活課題を抱えた世帯に対し、包括支援係だけが受け止めるのではなく、「福祉ここから相談窓口」に位置付けられた各課（福祉総務課、人生100年推進課、障がい福祉課、生活援護課、こども総務課、すくすく子育て課）がそれぞれ受け止める力をつけていくことを目指しており、福祉事務所全体で連携して支援を組み立てていくこととしております。厳しい財政状況の中、限られた人員での対応にはなりますが、各課横断的な連携を通じて、適切な支援を行ってまいります。
--	-----	---	---

当日配布資料：事前意見等一覧

		・シートに記載のある「支援検討がしやすい環境づくり」とは、どのようなことを想定しているのか。	本人の同意を得て、事案の課題整理、方針検討について各課必要な関係者が集まって協議をする随時テーブルを適宜実施しています。また、課ごとに、事案の振り返りや実践における課題を共有し合う課テーブルを実施し、各課の現状を共有しながら、事案からの気づき、支援者としての悩みなどを話し合う時間を設けています。 こうした各所での対話の機会を設けることで、支援が検討しやすい環境をつくり、各課、各支援者が事案を抱え込むことを回避しています。
	ご意見	主な取り組み④－２ 【参考】屋内こども広場及び子育て支援施設での子育て相談件数 ・きめ細かい相談支援体制を取っていることは高く評価できる。	
	ご意見	主な取り組み⑤ ヘルパー派遣件数延べ人数 ・素晴らしい支援を行っており、高く評価できる。 ・事業の実施にあたって、費用対効果の視点を持ちながら取り組みを進めてほしい。	

当日配布資料：事前意見等一覧

	ご質問	主な取り組み⑤ ヘルパー派遣件数延べ人数 ・令和5年度実績値が472人、令和6年度実績値が185人、令和7年度実績値が266人とあるが、令和5年度から大幅に減少したのはなぜか。	ヘルパー派遣は、要保護児童・要支援児童等を対象とした事業であり、必要な訪問の内容・頻度等は個別の事情により大きく異なります。このため、年度によって実績値に増減が生じます。 今後も関係機関等と連携して、支援が必要な子どもや家庭の速やかな情報共有・把握に努め、適切な支援が実施できるよう努めていきます。
個別目標 2	ご意見	主な取り組み① 生活保護受給世帯のうち、働いている世帯 ・令和7年度実績値が令和11年度最終目標値を上回っており、高く評価できる。 ・成果指標「保健や福祉に関する情報の得やすさに満足している人の割合」が向上しているとより高く評価できる。 ・成果指標が明示されている。 ・さらなる成果をあげるための改善策について、進行管理シートに記載してほしい。	進行管理シートに記載のとおり、ケースワーカーや就労支援員による指導を継続するとともに、ハローワークと連携した「生活保護受給者等就労自立促進事業」を活用するなどの取り組みを進めます。

当日配布資料：事前意見等一覧

	ご意見	主な取り組み② 生活困窮者自立支援事業の相談受付件数（延べ） ・相談員数に変化がない中で、支援対象者を増加させていることは高く評価できる。	
	ご質問	主な取り組み② 生活困窮者自立支援事業の相談受付件数（延べ） ・令和 11 年度最終目標値の算出根拠は何か。	計画策定時の実績値をもとに算出しています。
個別目標 3	ご意見	主な取り組み② 【参考】小学生以下対象のキッズサポーター養成講座や中学生認知症サポーター養成講座の受講者数 ・市内小中学校の児童生徒に向けて、毎年様々な方法でサポーター養成講座を開催していることはとても良い取り組みであると思う。 ・昨年と比較しても受講者数が減少していることや、学校として取り組まなかった中学校があることから、全校実施に至っていないことが残念である。小学校は特に受講者が少ないことも残念である。	

当日配布資料：事前意見等一覧

個別目標 4	ご意見	主な取り組み① 【参考】支援会員数（ファミリーサポートセンター事業） ・支援会員数の微増を維持していることは評価できる。	
	ご意見	主な取り組み② つながり推進補助金事業参加者数（累計） ・参加者数の微増を維持していることは評価できる。 ・令和7年度実績値が令和11年度最終目標値を上回っており、高く評価できる。 ・従来の手法で十分な成果をあげているかの検討が必要という視点は重要であると感じる。	
	ご意見	主な取り組み③ 民生委員・児童委員への活動支援の充実 ・民生委員の担当地区内に複数の自治会があるところの充足率を高めるには、自治会相互の話し合いを十分に進めるべき。	

当日配布資料：事前意見等一覧

ご 質 問	主な取り組み③ 民生委員・児童委員への活動支援の充実 ・令和 11 年度最終目標値の充足率 100%は、希望的数値か、可能な充足率か。	近年の充足状況や計画期間中に次期一斉改選が予定されていることを考えると、最終目標値を達成するには多くの課題があると捉えていますが、民生委員・児童委員が適正に配置され、地域における身近な相談相手として活動することが、事業の目指す姿であることから、定数の充足を目標に掲げ、民生委員児童委員の周知や活動の円滑化に向けた環境整備等の取り組みを進めてまいります。
ご 意 見	主な取り組み④ 災害時における避難行動要支援者の避難支援体制の構築 ・自治会による積極的な働きかけはよいと思う。 ・なぜ実際の災害時に活用できるような個別避難計画の作成にまで至らないのかの分析をどのように行っているのかが見えない。自治会への説明や促しは重要だが、それだけでは個別避難計画の作成には繋がりにくいのではないかと考える。自分ごととして考えていく市民を増やしていくことが必要だと思う。	

当日配布資料：事前意見等一覧

		・他自治体の取り組み、市内の自治会の状況把握は重要だと考える。	
個別目標 5	ご意見	主な取り組み①－１ こども食堂の数（こども食堂マップに掲載するこども食堂の数） ・令和7年度実績値が令和11年度最終目標値を上回っており、高く評価できる。	
	ご質問	主な取り組み①－１ こども食堂の数（こども食堂マップに掲載するこども食堂の数） ・こども食堂の数について、補助金交付施設数から、こども食堂マップに掲載する施設数へ変更したのであれば、目標値も変更すべきではないか。	今期計画は令和7年度から開始しており、令和7年度実績値および令和11年度最終目標値はこども食堂マップに掲載する施設数として記載しています。
	ご意見	主な取り組み①－２ だれもが気軽に集える居場所や当事者同士の交流の充実 ・令和7年度実績値が令和11年度最終目標値を上回っており、高く評価できる。 ・利用者数が増加している点は高く評価できる。	

当日配布資料：事前意見等一覧

	ご意見	(個別目標全体を通じて) ・「高齢者が生きがいをもち、安心して暮らせる環境として満足している人の割合」と「障がい者が社会に参加し、安心して暮らせる環境として満足している人の割合」の成果指標について、高齢者の満足度も決して多いとは言えないが、障がい者の社会参加への満足度がかなり低いことが分かっている中で、この2つの指標だけでいいのかは課題である。特に充足していない点の支援強化について、もっと検討していくべきだと考える。	
個別目標 6	ご意見	主な取り組み① 介護予防セミナー受講者数（延べ） ・受講者数が増加し、高い満足度が得られていることは高く評価できる。 ・令和7年度実績値が令和11年度最終目標値を上回っており、受講者アンケートの結果から高い満足度が得られていることを確認していることは高く評価できる。	